

No.	危険源、危険状態及び危険事象	国際的に認知された規格の例
14	制御回路の故障(続き)	<u>IEC61508-4:1998 JISC0508-4:1999</u> 電気・電子・プログラマブル電子安全関連系の機能安全 —第4部:用語の定義及び略語 <u>IEC61508-5:1998 JISC0508-5:1999</u> 電気・電子・プログラマブル電子安全関連系の機能安全 —第5部:安全度水準決定方法の事例 <u>IEC61508-6:2000 JISC0508-6:2000</u> 電気・電子・プログラマブル電子安全関連系の機能安全 —第6部:第2部及び第3部の適用指針 <u>IEC61508-7:2000 JISC0508-7:2000</u> 電気・電子・プログラマブル電子安全関連系の機能安全 —第7部:技術及び手法の概観 <u>ISO13851:2001 EN574:1996 JISB9712:2006</u> 機械類の安全性—両手操作制御装置—機能的側面及び設計原則 <u>ISO13856-1:2001 EN1760-1:1997</u> 機械類の安全性—圧力検知保護装置—第1部:圧力検知マット及び圧力検知フロアの設計及び試験のための一般原則 <u>prEN1760-2:1998</u> 機械類の安全性—圧力検知式保護装置—第2部:エッジ及びバーの設計及び試験のための一般原則 <u>prEN1760-3:1996</u> 機械類の安全性—圧力検知式保護装置—第3部:バンパーの設計及び試験のための一般原則 <u>IEC/TS62046</u> 機械の安全性—人の存在を検出するための保護機器の応用
17	落下又は噴出する物体又は流体	<u>EN982:1996</u> 機械類の安全性—流体動力システム及び構成部品に関する安全要求事項—油圧 <u>EN983:1996</u> 機械類の安全性—流体動力システム及び構成部品の安全要求事項—空圧
19	人員の滑り、つまずき及び落下(機械に関係するもの)	<u>ISO14122-1:2000 prEN12437-1:1996 JISB9713-1:2002</u> 機械類の安全性—機械類への常設接近手段—第1部:高低差のある2箇所間の昇降設備の選択 <u>ISO14122-2:2000 prEN12437-2:1996 JISB9713-2:2002</u> 機械類の安全性—機械類への常設接近手段—第2部:作業用プラットフォーム及び通路 <u>ISO14122-3:2000 prEN12437-3:1996 JISB9713-3:2002</u> 機械類の安全性—機械類への常設接近手段—第3部:階段、段ばしご及び防護さく <u>ISO14122-4:2000 prEN12437-4:1996 JISB9713-4:2002</u> 機械類の安全性—機械類への常設接近手段—第4部:固定はしご